

☆「読書の秋」は、唐時代の詩人・韓愈（かんゆ）が息子に送った詩の一節『燈火（とうか） 親しむべし』が由来とされています。「秋の夜は灯りをともして読書をするのにふさわしい」という意味で、夏目漱石が『三四郎』の中で引用したことをきっかけに、秋は読書をするのに適した季節というイメージが定着したということです。☆

城陽高校図書館だより

ふみくら

2017-No. 6

平成29年10月27日  
京都府立城陽高等学校  
図書館発行



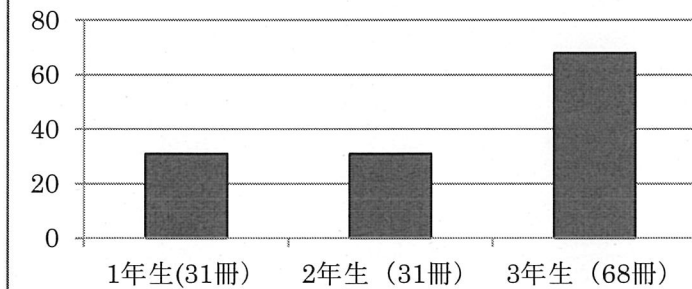
9月の図書館

開館日数 18日 入館者数 377人

\*入館者は昨年度より1割増、貸出し冊数は3割減でした。

3年生は受験や英検・漢検対策本の利用が増えました。小論文対策のニーズに応えられるよう、わかりやすい本を増やしています。

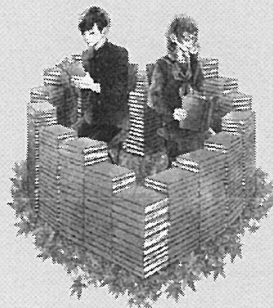
貸出冊数 (130冊)



昨年度この時期よく読まれた本は『君の膵臓をたべたい』でしたが、1年経った今でも人気です。文庫本も出て手軽に読めるようになりました。9月の人気本は、『打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？』大根 仁著（8月公開のアニメ映画の原作小説）でした。あなたも読んで見ませんか？

貸出1位さん（3年生）のトータル冊数が1,209冊になりました！

本に  
恋する  
季節です！



2017・第11回  
読書週間  
10/27～11/9

☆毎年11月3日の文化の日をはさんだ2週間は、出版社・図書館・取次・書店・報道・文化関連各団体からなる公益社団法人 読書推進運動協議会が定める読書週間です。☆

文化祭・体育祭の次は 読書週間！！

11月6日(月)～10日(金) は図書館へ

図書館も夕日が長く差しこみ、窓が一面夕焼け色に染まるようになりました。日もだんだんと短く、秋の深まりを感じます。図書委員会だよりでもお知らせしましたが、11月6日から恒例の後期校内読書週間が始まります。みなさんにもっと図書館や本に親んでもらいたいとの思いを込めたイベント週間です。昼休み・放課後に見に来てください！

11月6日 昼休み ～ 10日 昼休み

☆「古雑誌リユース」 図書館の古くなった雑誌をリユースします。

人気の雑誌はすぐなくなりますので、早めに来てください。

☆「雑誌付録プレゼント」 図書館で購入しているアニメ・ジュエルの雑誌の付録、ポスターなどがもらえます。応募制。応募者多数の場合は抽選します。

☆「古本交換会」 チケット制。チケット1枚で古本1冊と交換できます。

チケットのない人には1冊10円で販売します。（売上金は「募金」とします。）交換チケットは古本提供1冊につき1枚、または10月16日～11月2日に本を1冊借ると1枚もらえます。古本は11月2日まで受付。

☆11月14日(火) 放課後 「ビブリアバトル」 図書館で行います。

本を使ったコミュニケーションゲーム。本を語りたい人はバトラーでぜひ出場しよう！ 他の人の話を聞くだけでも楽しいので、投票にも気軽に参加してください。今回は、先生・生徒ミックス、プレゼン時間4分で行います。

11月10日(金)までバトラーエントリー受付。→ 図書館まで。

参加賞、1位賞品あり。

☆11月22日(水) 放課後 「アナログレコードを聴いてみませんか？」

図書館でレコードコンサートを行います。どんな音がするのでしょうか？

今年の  
おすすめ  
ハロウィン本



『パンプキン・ムーンシャイン』  
四季の花々が咲く美しい庭で知られるアメリカの絵本画家・挿絵画家・園芸家・人形作家ターシャ・チューダーのかわいい絵本。  
タイトルの「パンプキン・ムーンシャイン」はハロウィンに欠かせないあるものこと。さて何でしょう??

A さんのおすすめ本

『一路 (上・下)』 浅田次郎 著  
中公文庫



時は江戸時代末期、美濃西部、今の岐阜県西部にあるとある藩の参勤交代の物語です。と言うと、「なんや、時代もんかあ。興味ないなあ。」なんて思う人もいるのでは? いやいや、面白いですよ。作者が、浅田次郎というのもあるし、笑いあり、人情ありの道中のお話し。江戸時代の価値観というものも少しはわかってきます。今の日本人の考え方などの価値観は、江戸時代から明治時代にかけて形成されたものが基本となっているのだと思います。

「参勤交代」というものが、江戸時代にあったことを知っている人も多いのではないのでしょうか。「参勤交代」は、藩のお殿様が1年ごと(藩によっては期間が異なっていたそうな)に、自分の領地と江戸(今の東京)とに住まいをかえるという制度です。そのため、大勢の家来たちがその行き来につき添うわけですが、もちろん電車や車がない時代で、道も当然舗装されていないし、トンネルもないから、山道や峠を上り下りしなければなりません。川も橋がわざとかけていないところもあり(敵が江戸に攻めて来にくいようにするため)、何十人、何百人の武士たちが江戸まで行くのは並大抵のことではありません。宿は、東海道53次とか、中山道(名古屋あたりから長野県、山梨県を通るルート)には69次の宿場がありました。宿の手配から、道中の安全など、現代のわれわれからは想像もできないようなこともたくさんあったことでしょう。

そのようなことを想像しながら読んでいくと、自分が参勤交代に参加しているような思いになります。一度「一路」を手にとってみてください。

(司書教諭 足立孝二)

9月24日(日)麓谷大学深草キャンパスで行われた、ビブリアバトル  
京都府大会に2名参加しました。学校でのバトルとは違った緊張感  
の中、精一杯プレゼンをした結果、1名が決勝に進みました。  
惜しくも全国大会出場はなりませんでしたが、ふたとも、他校の  
バトルとのバトルは楽しく、よい刺激を受けたと言っていました  
応援に来てくださった先生方、ありがとうございました。  
今回のバトルで紹介してくれた本は  
「日本人が一生使える勉強法」竹田恒泰著  
「ファイヤホー、野生にかえる コーリアーズ」エリン・ハンター著  
です。  
図書館に入れてありますので、読んでみてください。